

2022年度

# 一般社団法人外国映画輸入配給協会 事業報告

2022年4月 1日～2023年3月31日

一般社団法人 外国映画輸入配給協会

## 目 次

I.	総会	
	1) 2022年度定時総会	2
	2) 2022年度事業計画	2
II.	理事会、会員定例会、部会、事業	
	1) 理事会審議議題	5
	2) 会員定例会審議議題	8
	3) 各部会の開催	10
	4) 外国映画通関連絡協議会の開催	11
	5) 外画宣伝部長会の開催	12
III.	主な事業活動の報告	
	1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びに その公表等の広報活動に関する事業	12
	2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に 寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業	12
	3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、 普及促進、保存及び特殊上映に関する事業	13
	4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び 最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の 開催に関する事業	15
	5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び 開催に関する事業	15
	6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護 に関する事業	16
	7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために 必要な事業	17

# 一般社団法人外国映画輸入配給協会 2022年度事業報告

## I. 総会

### 1) 2022年度定時総会

2022年度定時総会が以下の通り行われた。

開催日時： 2022年6月7日（火）

開催場所： 東京會館 7階 ウィステリア 東京都千代田区丸の内3-2-1

- ・2021年度事業を報告した。
- ・2021年度計算書類ならびに2022年度事業計画、収支予算が承認可決された。
- ・理事の佐野真之の辞任が承認可決された。
- ・理事の井上伸一郎氏、山崎敏氏、依田巽氏、佐々木伸一氏、水口昌彦氏、水越浩司氏の任期満了による退任が承認可決された。
- ・井上伸一郎氏、山崎敏氏、依田巽氏、佐々木伸一氏、水口昌彦氏、水越浩司氏の理事再任および荒木美也子氏、小山洋平氏、柴野相雄氏の理事新任が承認された。
- ・定款を専務理事新設等の変更が承認可決された。
- ・賛助会費を2022年4月1日より月会費から年会費への変更が承認可決された。

### 2) 2022年度事業計画

一般社団法人外国映画輸入配給協会は、定款第2章に定められている事業の達成のため、2022年4月1日より2023年3月31日迄の間、特に下記の事業の推進に努める。当協会は、一般社団法人映画産業団体連合会傘下であり、おもに邦人の外国映画輸入配給業者を会員に持つ国内唯一の公的機関として、外国映画の普及、発展に寄与すべく事業活動を行うとともに、コロナ禍で被ったダメージからのさらなる再生・飛躍に向けて、映画産業全体（製作、配給、興行）で行う取り組みに協力する。

また、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、モーショントークン・アソシエーション、一般社団法人日本映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会等の映画関連諸団体と密接な連携を図り、映画産業全体の発展に寄与していく。

#### 1. 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

##### 『年間外国映画統計資料』

2022年に配給公開された輸入外国映画の統計『外画概況』（国別・会社別）を作成する。国内の輸入映画産業における基礎的な統計データを調査・集計し、当協会の公式ホームページ並びに各メディアを通じて公表する。

各年に配給公開された輸入外国映画統計を作成し、輸入配給業の発展に寄与する。

##### 『年間外国映画実勢調査』

2022年に配給公開された輸入外国映画の実勢調査をする。外国映画統計レポートとして国内の輸入映画統計を調査・集計し外国映画産業の発展に寄与する。

2. 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

『優秀外国映画輸入配給賞』

年間を通じて優れた作品でなおかつ新分野を開拓し、わが国の映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を国内に輸入、公開した配給会社を表彰する。

3. 輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

『トーキョーシネマショー』

当協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会と共に、外国映画振興のためのイベントを東京および大阪にて実施する。シンポジウム、トークショー、予告編上映イベント等を通じて、映画観客数の増加と日本の映画産業の発展に貢献することを目的とする。

『「映画館に行こう！」実行委員会活動』

映画人口2億人を目指し、当協会、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーション・ピクチャー・アソシエーションの映画関係4団体協力のもと、「映画館に行こう！キャンペーン」、「映画盗撮防止キャンペーン」「映画館における感染症拡対策の普及」等活動を通じて各施策を推進する。

『優秀外国映画の保存』

わが国唯一の映画を専門とする国立機関として設立された独立行政法人国立美術館「国立映画アーカイブ」と連携し、映画の保存・研究・公開を通して行う映画の文化振興活動に対し、会員各社が協力することを奨励していく。

『副音声付等特殊上映』

障害者差別解消法のもと、外国映画の配給会社としてどのように実現していくべきか関係団体と協議を継続する。映画のバリアフリー対応を実現し、社会的障壁を除去するための合理的配慮をしつつ、さまざまな人に外国映画を届ける環境づくりを、関係団体とともに追求する。

『協会発足60周年記念事業』

協会発足60周年に事業として、戦後外国映画配給会社全作品リストや年史についてデータベース化し公表する等、会員および関係団体に向けて60年の外国映画普及の歴史を振り返るとともに未来を共有する機会を創出する。

4. 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

『映画産業交流会』年頭名刺交換会

モーション・ピクチャー・アソシエーションの協力を得て、日本の映画産業を支える配給・興行・製作・マスコミ関係者及び関係団体等の参加により、日本映画産業と海外の映画産業の交流を図り、我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として「年頭名刺

交換会」を東京および大阪にて開催する。

#### 『外配協セミナー』

外国映画文化の振興および輸入配給業の発展に寄与するセミナーおよびシンポジウムを開催する。ハリウッド最新情報、海外映画祭レポート等、会員の関心のあるテーマを設定し定期開催する。

#### 『外国映画通関連絡協議会研修会』

本会は当協会に事務局を置き、外国で作られた映像素材の輸入、制作、配給、販売など、映像関連の事業に携わる会社が輸入通関業務の簡素化、合理化、円滑化を図る事を目的に事業を行う。デジタル化の影響で通関実績が激減するなか東京税関との繋がりを継続しつつ、主に映画技術の研究のための研修会等を定期開催する。特に最新の映像・音響機材についての研究や、新上映システムの実地研修などを実施して配給業務発展のため推進する。

#### 『外画宣伝部長会』

本会は当協会に事務局を置き、当協会会員、一般社団法人日本映画製作者連盟加盟社およびモーション・ピクチャー・アソシエーション加盟の各社宣伝部長が、映画宣伝について直面する諸問題、緊急課題の検討、連絡、情報交換を通じて各社の宣伝業務が円滑に行われるよう会議を開催する。「YAHOO! 予告編サイト」、各社イベントスケジュールの調整を目的とした「EVENT MASTER」システム運営に加え、「トーキョーシネマショー」、「優秀外国映画輸入配給賞」、「映画館に行こう！キャンペーン」等のイベントを共同で行う。

### 5. 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援に関する事業

#### 『各種映画祭』

東京国際映画祭をはじめ各種映画祭等に対する後援及び実施に協力する。また、「映画の日」、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等各団体が実施する催事に協力する。

### 6. 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

#### 『映画盗撮防止対策』

映画館での映画盗撮による著作権侵害が映画文化、芸術に対し被害を及ぼしていることに鑑み、「映画盗撮防止に対する法律」に規定されている映画産業関係事業者による映画盗撮防止措置について関係各団体と協議していく。また、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に行っている「NO MORE 映画泥棒」キャンペーンと連携を取り映画盗撮防止対策を拡充推進していく。

#### 『国際問題等対策』

会員各社並びに非会員輸入配給業者からの国際取引、著作権問題に関する諸問題の相談、聞き取りや会員各社からの問題提議に対して、当協会は顧問弁護士、顧問会計事務所等との相談を通じ、外国映画関係法規及び国内著作権法等の検討を行い、問題解決に努める。

#### 『外国映画における音楽著作権上映使用料』

映画館における外国映画音楽の上映利用について、一般社団法人日本音楽著作権協会と全

国興行生活衛生同業組合連合会との間で行われている外国映画における音楽著作権上映使用料の改定交渉（通称JASRAC協議）についても、当協会は従来通りその使用料の代行払いを担っている立場から、全国興行生活衛生同業組合連合会と共に積極的に交渉に参画する。

7. コロナ禍で被ったダメージからのさらなる再生・飛躍に向けて必要な事業  
関係省庁および関係団体との連携を強め映画産業全体で行う取り組みに協力する。
8. 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

## II. 理事会、会員定例会、部会、事業

### 1) 理事会

#### ○第102回理事会（4月19日開催）WEB会議システム

<審議・承認事項>

後援名義申請の件

・映画感想文コンクール2022(キネマ旬報社)

<報告事項>

2021年度事業報告

3月活動報告／3月月次収支報告

会員退会の報告

時短協力金に関する進捗報告

映団連事務局長連絡会議共有報告

総会・理事会・外配賞スケジュールの報告

#### ○第103回理事会 書面決議

<審議・承認事項>

2021年度計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書承認の件

定時社員総会招集の件

後援名義申請の件

・あいち国際女性映画祭2022（実行委員会）

第60回優秀外国映画輸入配給賞の件

<報告事項>

4月月次収支報告

JASRAC協議に関する進捗の報告

#### ○第104回理事会（6月7日開催）東京會館(千代田区丸の内)

<審議・承認事項>

業務執行理事(会長・常務理事・専務理事)選定の件

後援名義申請の件

・MPTE AWARD 2022 第75回表彰式（日本映画テレビ技術協会）

4月・5月活動報告

- JASRAC 協議に関する進捗報告の件
- NFT セミナー実施の報告
- 映団連事務局長連絡会議共有報告
- 映画制作適正化機構設立の報告
- 第105回理事会（7月19日開催）如水会館（千代田区竹橋）
  - <審議・承認事項>
  - 第60回優秀外国映画輸入配給賞実施報告の件
  - トーキョーシネマショー2022の件
  - 関西シネマショーケース2022の件
  - 後援名義申請の件
    - ・第35回東京国際映画祭（ユニジャパン）
  - <報告事項>
  - 6月活動報告／5月・6月月次収支報告
  - 「映画の日」永年勤続功労章の報告
  - 2022年外面概況（上半期）報告
  - JASRAC 協議進捗報告
  - 映団連理事会共有情報の報告
  - 令和5年春叙勲候補者および褒章候補者推薦の報告
  - 映画翻訳家協会の覚書等の報告
  - 全興連のガイドライン等の報告
- 第106回理事会（9月20日開催）WEB 会議システム
  - <審議・承認事項>
  - 2023年年頭名刺交換会開催概要の件
  - 第67回「映画の日」の件
  - 時短協力金監査報告の件
  - 後援名義申請の件
    - ・「第14回京都ヒストリカ国際映画祭」（実行委員会）
    - ・「第18回山形国際ムービーフェスティバル」（運営委員会）
  - <報告事項>
  - 7月・8月活動報告／7月・8月月次収支報告
  - トーキョーシネマショー2022終了報告
  - JASRAC協議進捗報告
  - 「映画館に行こう！実行委員会」の報告
  - 映団連理事会等における共有報告
  - 各国コンテンツ産業支援政策調査(VIPO)
- 第107回理事会（10月18日開催）如水会館（千代田区竹橋）
  - <審議承認事項>
  - 2023年年頭名刺交換会収支予算の件
  - 後援名義申請の件

- ・「TIFFCOM 2022」(ユニジャパン)
- ・「第1回京都映画賞」(京都市)
- ・「新潟国際アニメーション映画祭」(実行委員会)

<報告事項>

9月活動報告／9月月次収支報告

トーキョーシネマショー2022終了報告

関西シネマショーケース2022終了報告

JASRAC 協議進捗報告

映画館に行こう!キャンペーン(全興連)報告

イベント割キャンペーン(全興連)報告

○第108回理事会 (11月15日開催) 資生堂パーラー(中央区銀座)

<審議承認事項>

2023年 理事会等開催日程の件

JASRAC 上映使用料の件

後援名義申請の件

- ・午前十時の映画祭13(映画演劇文化協会)

<報告事項>

10月活動報告／10月月次収支報告

年頭名刺交換会運営経過の報告

外国映画通関連絡協議会の活動報告

イベント割(全興連)の報告

映画館へ行こうキャンペーン(全興連)の報告

盗撮防止キャンペーン(映画館に行こう!)の報告

○第109回理事会 (1月17日開催) WEB 会議システム

<審議承認事項>

後援名義申請の件

- ・「第18回大阪アジア映画祭」(実行委員会)

<報告事項>

11月・12月・1月活動報告

11月・12月・1月月次収支報告

2023年年頭名刺交換会実施報告

JASRAC協議進捗報告

2022年外面概況の報告

映画 GIFT(映画館に行こう!)の報告

一般社団法人日本映画制作適正化機構設立の報告

日本銀行価格調査の協力依頼

○第110回理事会 (2月21日開催) 如水会館(千代田区竹橋)

<審議・承認事項>

2023年年頭名刺交換会事業決算報告の件

<報告事項>

1月活動報告／1月月次収支報告

JASRAC協議進捗報告

2022年全国映画概況(映連)の報告

2022年年間審査本数(映倫)の報告

イベント割チケット販売数の報告(全興連)

厚労省「洋画の復活と成長事業」受託(全興連)の報告

日本版CNC設立に向けた研究会の報告

日本銀行価格調査の報告

○第111回理事会 (3月14日開催) 資生堂パーラー(中央区銀座)

<審議・承認事項>

第61回優秀外国映画輸入配給賞事業計画の件

2022年度仮決算の件

2023年度事業計画(案)の件

会員変更届の件

後援名義申請の承認

・第15回沖縄国際映画祭(実行委員会)

・SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2023(実行委員会)

<報告事項>

2月活動報告／2月月次収支報告

JASRAC交渉進捗報告の件

映画館ガイドライン一部改訂の報告(全興連)

2) 会員定例会

○4月会員定例会 (4月19日開催) WEB会議システム

2021年度事業報告

時短要請に伴う配給会社への協力金に関する進捗報告

3月活動報告

映団連事務局長連絡会議の報告

・ウクライナ・ロシア情勢に関する声明文(ユニジャパン)

・映画製作者による優越的地位の乱用に関する報道について(映連)

○6月会員定例会 (6月7日開催) 東京會館(千代田区丸の内)

理事・監事選任の報告

定款一部変更に関する報告

業務執行理事選定の報告

2021年度計算書類の報告及び2021年度事業報告

2022年度事業計画及び収支予算に関する報告

賛助会費変更に関する報告

JASRAC協議に関する進捗報告

時短協力金に関する進捗報告

NFT セミナー実施の報告

映団連役員改選の報告

○7月会員定例会（7月19日開催）如水会館(千代田区竹橋)

第60回優秀外国映画輸入配給賞実施報告の報告

トーキョーシネマショー2022の報告

関西シネマショーケース2022の報告

「映画の日」永年勤続功労賞の報告

2022年上半期外面概況報告

JASRAC 協議に関する進捗報告

6月活動報告

文化芸術推進フォーラム提言2022の報告

令和5年春叙勲候補者および褒章候補者推薦報告

映画翻訳家協会覚書の報告

全興連のガイドライン等の報告

- ・定例会終了後、東京国際映画祭安藤裕康チェアマンにご登壇いただき、「第35回東京国際映画祭」の開催概要のご説明と会員各位への挨拶があった。

○9月会員定例会（9月20日開催）WEB 会議システム

トーキョーシネマショー2022実施報告

2023年（令和5年）年頭名刺交換会の報告

第67回「映画の日」特別功労章推薦の報告

時短協力金監査報告

JASRAC 協議進捗報告

「映画館に行こう！」実行委員会の報告

7月・8月活動報告

○10月会員定例会（10月18日開催）如水会館(千代田区竹橋)

2023年年頭名刺交換会の件

9月活動報告

トーキョーシネマショー2022終了報告

関西シネマショーケース2022終了報告

JASRAC 協議進捗報告

映画館に行こう！キャンペーン（全興連）の報告

- ・定例会議終了後、GEM Partners(株)による『アフターコロナに向けた外国映画マーケット報告会』を開催。

○11月会員定例会（11月15日開催）資生堂パーラー(中央区銀座)

2023年年頭名刺交換会の報告

JASRAC協議進捗報告

2023年会員定例会等日程の報告

10月活動報告

外国映画通関連絡協議会の活動報告

イベント割(全興連)の報告

映画館へ行こうキャンペーン(全興連)の報告

盗撮防止キャンペーン(映画館に行こう!)の報告

- ・定例会議前に、ユニジャパン栗橋三木也事務局長による TIFFCOM2022 の開催概要説明会を開催

○1月会員定例会 (1月17日開催) WEB 会議システム

2023年頭名刺交換会実施報告

JASRAC協議進捗報告

2022年外画概況の報告

映画 GIFT(映画館に行こう!)の報告

一般社団法人日本映画制作適正化機構設立の報告

日本銀行価格調査の協力依頼

11月・12月の活動報告

○2月会員定例会 (2月21日開催) 如水会館(千代田区竹橋)

年頭名刺交換会事業決算報告の報告

1月活動報告

JASRAC協議進捗報告

2022年全国映画概況(映連)の報告

2022年年間審査本数(映倫)の報告

イベント割チケット販売数の報告(全興連)

厚労省「洋画の復活と成長事業」受託(全興連)の報告

日本版 CNC 設立に向けた研究会の報告

日本銀行価格調査の報告

○3月会員定例会 (3月14日開催) 資生堂パーラー(中央区銀座)

第61回優秀外国映画輸入配給賞事業計画の報告

2022年度仮決算の報告

2023年度事業計画(案)の報告

2月活動報告

JASRAC 交渉進捗報告

「盗撮防止キャンペーン映像」期間限定バージョンの送付について

映画館ガイドライン一部改訂の報告(全興連)

3) 宣伝部会、営業部会、製作=渉外部会、総務・経理合同部会の開催

○宣伝部会

- ・7月21日開催 WEB 会議システム

トーキョーシネマショー開催概要の報告

関西シネマショーケース開催概要の報告

第60回優秀外国映画輸入配給賞の実施報告

第35回東京国際映画祭開催概要の件

- ・ 10月18日開催 如水会館(千代田区竹橋)  
『アフターコロナに向けた外国映画マーケット報告会』開催。  
講師：GEM Partners

○営業部会

- ・ 8月23日開催 WEB 会議システム  
JASRAC 交渉の報告  
トーキョーシネマショー開催概要の報告  
関西シネマショーケース開催概要の報告  
外画概況（上半期）の報告  
時短協力金に関する報告
- ・ 10月18日開催 如水会館(千代田区竹橋)  
『アフターコロナに向けた外国映画マーケット報告会』開催。
- ・ 11月14日開催 WEB 会議システム  
JASRAC 交渉の報告  
JASRAC 新規使用料案の報告  
年頭名刺交換会の報告  
「映画館へ行こうキャンペーン」(全興連)の報告  
映画イベント割キャンペーン(全興連)の報告
- ・ 2月15日開催 WEB 会議システム  
JASRAC 新規使用料案について協議

○総務・経理合同部会

- ・ 1月18日開催 資生堂パーラー(中央区銀座)  
各事業収支の報告  
JASRAC 交渉の報告  
日本映画制作適正化機構設立(映適機構)の報告  
日本銀行価格調査への協力依頼  
叙勲・褒章推薦依頼
- ・ 『インボイス制度対応基礎セミナー』開催  
講師：銀座 K. T. C 税理士法人 公認会計士・税理士 柳岡泰明氏

○製作＝渉外部会

- ・ 5月23日開催 WEB 会議システム  
『知っておきたいNFTセミナー』開催  
講師：株式会社博報堂 DY ミュージック&ピクチャーズ 執行役員  
戦略企画室 室長 矢部征嗣氏

4) 外国映画通関連絡協議会の開催

- |     |         |             |
|-----|---------|-------------|
| 総会  | 5月23日開催 | IMAGICA 試写室 |
| 研修会 | 5月23日開催 | NFT セミナー    |

常任理事会 11月11日開催 銀座天厨菜館  
懇親会 3月16日開催 銀座天厨菜館

5) 外画宣伝部長会の開催

- ・ 7月21日開催 WEB 会議システム  
トーカーシネマショー開催概要の報告  
第60回優秀外国映画輸入配給賞の実施報告  
第35回東京国際映画祭開催概要の件
- ・ 10月18日開催 如水会館(千代田区竹橋)  
『アフターコロナに向けた外国映画マーケット報告会』開催  
講師：GEM Partners

Ⅲ. 主な事業活動の報告

- 1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業  
2022年外国映画作品目録を2023年1月に発表。2022年外画概況(国別・会社別)一覧を7月(上半期)と1月に発表した。各種資料は完成後当協会ホームページに掲載。今年度よりデータベースを新たに開設して検索機能を拡充させた。関連団体、官公庁、関係会社、マスコミとの連絡業務に活用されている。
- 2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

1. 第60回優秀外国映画輸入配給賞の実施

社団法人外国映画輸入配給協会が昭和37年度(1962年)から通商産業省(現経済産業省)の後援を得て制定した。第60回となる本賞は2021年4月1日から2022年3月31日迄の1年間に作品の質が高く、なおかつ新分野を開拓し、日本の映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を輸入公開した配給会社を表彰するため、8名の審査員により審査が行われ、以下の通り各賞が決定された。

<審査内容>

本賞は「最優秀賞」を正賞とし、次点として「優秀賞」が贈られる。

また、意欲的且つ冒険的に各国優秀作品の買付・輸入・配給に努めた会社に対し審査員の合議に基づいて「奨励賞」を設けることができる。受賞会社は、公開した作品の内容とともに興行成績も重視して授与される。

運営委員：井上伸一郎、大角正、山崎敏、栗原弘行、諸富謙治、釣巻美智子

審査員：秋山登、大高宏雄、佐伯知紀、鈴木隆、古田貴士、三浦理高、村上光一、渡辺祥子

<審査会>

- ・ 第1回審査 2022年 3月 書面審査

・最終審査 2022年 4月27日(水) 如水会館にて開催

・【最優秀賞】株式会社パルコ

「アメリカン・ユートピア」「プロミシング・ヤング・ウーマン」「ラストナイト・イン・ソーホー」「スティルウォーター」「ベルファスト」

素晴らしいショーを演じる人々への愛着のこもる視線が心地よい『アメリカン・ユートピア』。親友を死に追いやった連中への女性の怒りが炸裂する『プロミシング・ヤング・ウーマン』。60年代ロンドンが懐かしい『ラストナイト・イン・ソーホー』。大企業の傲慢への批判が鋭い『スティルウォーター』……と、様々なジャンルの作品で知的好奇心を刺激し、内容の濃さで見る者を魅了する。その一方に『ベルファスト』のような幅広い年代層の共感を呼ぶ人間味溢れる映画もある、という公開作品の見事な充実ぶりを高く評価し、敬意を表します。

・【優秀賞】ギャガ株式会社

「コーダ あいのうた」

誰もが安心して楽しみ、様々な年代層の観客が映画を見る喜びを味わえる本年度のアカデミー賞受賞作。この愛すべき映画を、配信ではなく映画館で上映することを選択。あくまでも映画配給業の原点である劇場公開にこだわり、優れた映画を映画館の大スクリーンで見ると喜びを観客に贈る道を選んだ配給会社の心意気を高く評価します。

・【奨励賞】株式会社ミモザフィルムズ/有限会社ムヴィオラ

「ボストン市庁舎」「ブックセラーズ」

ボストン市役所の多岐にわたる仕事を見せながら、政治にたずさわる者はこうあってほしい、と思わせてくれる市長のメッセージが明確に伝わる『ボストン市庁舎』。世界最大規模のブックフェアに集まる人々、本を探し、愛し、売買する人々の姿をとらえたのが『ブックセラーズ』。この2本の優れたドキュメンタリー映画に共同配給で光を当てた功績を高く評価したい。

<授賞式>

2022年6月7日(火) 東京會館にて開催

授賞式には受賞会社、外配協会員各社をはじめとして、業界通信各社が参加した。当日会場では着席にて黙食をする等、新型コロナウイルス感染予防のための対策を講じた。

## 2. 一般社団法人映画産業団体連合会会員としての活動

一般社団法人映画産業団体連合会(映団連)の正会員として、当協会会長は理事として定時総会、定例理事会に出席し、事務局長はオブザーバーとして同席。映団連会員団体の事務局長連絡会議に出席、各団体からの最新情報を速やかに当協会会員に共有するとともに、映団連の会員として当協会の基盤の安定に努力した。映団連主催の第67回「映画の日」運営式典に協力した。

## 3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

### 1. 「トーキョーシネマショー2022」の開催

今年で27回目を迎えた「トーキョーシネマショー」は、日本における外国映画の普及と発展に寄与するため関係各社の協力を得て実施している。

全国の興行関係者や配給会社を中心に328名の参加を得て、9月14日新宿ピカデリーにて開催され、配給各社の最新予告編・特典映像の上映および米国在住の映画評論家、町山智浩氏のトークライブの2つのイベントが行われた。

参加者全員には、36社の加盟配給会社より272作品が掲載されたラインナップパンフレットが配布された。

開催日時：2022年9月14日（水）16：00～18：00

会場：新宿ピカデリー

内容：第1部「配給各社イチオシの1本!」最新予告編・特典映像連続上映  
第2部「町山智浩のトークライブ2022」（リモート編）

司会：笠井信輔（フリーアナウンサー）

## 2. 「関西シネマショーケース2022」の開催

関西映画業界人による催しの減少を受け、昨年「関西シネマショーケース2021」をトリアル開催。この度、関西地区におけるビジネス交流再開の場として「関西シネマショーケース2022」を開催した。

配給各社の最新予告編・特典映像の上映及び映画評論家の町山智浩氏のトークライブの2つのイベントがトーキョーシネマショーと同じ内容で行われた。

開催日時：2022年9月21日（水）15：00～17：00

会場：大阪ステーションシティシネマ

内容：第1部「配給各社イチオシの1本!」最新予告編・特典映像連続上映  
第2部「町山智浩のトークライブ2022」（リモート編）

司会：笠井信輔（フリーアナウンサー）

## 3. 「映画館に行こう！」実行委員会活動

年間映画人口を2億人に拡大し、映画産業と日本経済の発展に資することを目的に、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の映画業界4団体が平成16年に発足させた「映画館に行こう！」実行委員会の2022年度事業に積極的に参加した。

<主な活動内容>

- ① 映画館での盗撮防止への継続的活動。
- ② 上映時間データベースおよびYAHOO! 予告編サイトの継続。
- ③ 全興連との連携による映画館の「安全」「安心」をアピール。
- ④ 休業および時短要請における協力金に関する対応全般。

## 4. 国立映画アーカイブへのフィルム寄贈

会員各社の作品契約の諸条件の中で、契約相手の賛同を得て日本（国立映画アーカイブ）に

プリントを残すための活動について、理解を深め賛同を得るための努力を継続した。

4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

1. 年頭名刺交換会の開催

2023年1月5日(木)品川プリンスホテルにて日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、製作、メディア関係者564名が参加し、年頭にあたり外国映画輸入配給事業の健全な発展を図り我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的とした交流会「年頭名刺交換会」を開催した。

2. 外国映画通関連絡協議会研修会

映画・映像関連事業に携わる企業31社が参加する外国映画通関連絡協議会では、東京税関を初めとする諸機関との折衝を通じて輸入通関業務の簡素化を図るため情報を共有した他、年間を通じて主に以下のような活動を行った。

- ① 定例会合の開催
- ② 常任理事会の開催
- ③ 研修会の開催(NFTセミナー)

3. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とモーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)加盟会社、映連加盟会社他の宣伝部長で構成される宣伝部長会を開き、直面する諸問題の検討、情報の交換等を行い、各社の宣伝業務が円滑、健全に遂行されるとともに、映画観客数の増加に繋がる宣伝を行うための環境整備に努めた。また、「映画館に行こう！」上映時間データベース、YAHOO! 予告編サイト、「映画館に行こう!実行委員会」活動への協力等にて、邦画・洋画の枠を超えた交流の促進を図るべく活動した。

4. 外配協セミナー 3回開催

- ・アフターコロナに向けた外国映画マーケット報告会
- ・インボイス制度対応基礎セミナー
- ・知っておきたいNFTセミナー

5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

1. 映画祭の後援・協力をを行い、各映画祭が成功裡に開催されるよう協力した。

2022年度 外配協後援各種映画祭・イベント

映 画 祭	会 期	会 場
-------	-----	-----

午前十時の映画祭12	2022年4月1日 ～2023年3月30日	全国62映画劇場
第14回 沖縄国際映画祭	2022年4月16日 ～4月17日	桜坂劇場、琉球新報ホールほか
映画感想文コンクール 2022	2022年7月初旬 ～9月15日(募集)	2023年1月受賞者発表
SKIPシティ国際Dシネマ 映画祭2022	2022年7月16日 ～7月24日	SKIPシティ彩の国ほか オンライン配信
あいち国際女性映画祭 2022	2022年9月8日 ～9月11日	愛知県女性総合センター、 ミッドランドスクエアシネマ
第1回京都映画賞	2022年9月28日 ～2023年3月31日	2023年3月表彰式
第35回東京国際映画祭	2022年10月24日 ～11月2日	日比谷・有楽町・銀座地区 ほか
TIFFCOM 2022	2022年10月25日 ～10月27日	オンライン開催
第14回 京都ヒストリカ国際映画祭	2022年10月29日 ～11月6日	京都文化博物館ほか
MPTE AWARDS 2022	2022年11月2日	東京国際フォーラム
第18回山形国際ムービー フェスティバル2022	2022年11月11日 ～11月13日	MOVIE ONやまがた
第18回 大阪アジア映画祭	2023年3月10日 ～3月19日	ABCホール、シネ・リーブル 梅田、梅田ブルク7
新潟国際アニメーション 映画祭	2023年3月17日 ～3月22日	新潟市民プラザほか

2. 各種映画賞運営に協力

第46回「日本アカデミー賞」(運営委員として)、第77回「毎日映画コンクール」の運営(諮問委員として)に協力した。

6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

1. 映画館内における映画盗撮により、複製海賊版DVDやインターネット上へのダウンロード

等により著作権侵害が多発していることから、映画各団体は協力して活発な活動を展開した結果、平成19年「映画館の盗撮の防止に関する法律」が公布、施行された。当協会、一般社団法人日本映画産業団体連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーションピクチャー・アソシエーション（MPA）、全国興行生活衛生同業組合連合会は、一般社団法人映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会とも緊密な連絡をとり、同法律の周知徹底に資するため、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に全国劇場における盗撮防止キャンペーンCM（カメラ男）を継続している。

このほか、違法対策室を設け劇場からの盗撮情報を集約、連絡を徹底している。

## 2. 著作権問題

会員各社における著作権問題に関する諸問題を顧問弁護士との相談を通じ検討・連絡・対応にあたった。一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）と全国興行生活衛生同業組合連合会の間で協議を重ねている「JASRAC協議」では、JASRACの管理楽曲の映画における上映使用料規程改定交渉が行われており、オブザーバーとして参加した。今後とも公平な負担と現状の使用料維持を求めると共に、映画業界全体としてこの問題の解決に向かって各関連団体との協議を重ねていく。

7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

以上